

三・まず市の単独の団体補助から見直すということ、この部分については、二十年度予算から反映、その他については、二十一年度までの三カ年に全面的な見直しを行っていききたい。

みたにふれあい館運営協議会の指定管理者について

問

一・公募の方法は。
二・管理費ほどの程度を見込んでいるのか。
三・この協議会の実態はどのようなものか。

答

一・地域に密着している施設であり地域での柔軟な運営をさせていただきたいので、公募によらない方法をとった。
二・週五日開設して一日二千円の有償ボランティアの人件費及び光熱費等の運営費ということで年間八十万円を予定している。
三・みたにふれあい館運営協議会の組織とは、上三谷広報区長を会長として、その他副

会長、監事等で、現在十一人の役員で組織され南伊予地区に住所を有する住民が組織する形態である。
また、この施設については、介護予防それから三世代交流ということで地域住民の交流を目的としている施設である。



みたにふれあい館

平成十九年度伊予市一般会計補正予算(第一号)

厚生年金休暇センターや指定管理者物件の検証について

問

六百三十万円計上されているが、具体的な発注内容とその結果はいつまでに出されてその発表は、どのような形で

市民に周知するのか。

答

まちづくり計画作成業務委託料ということで一括発注し、年内に中間報告を予定、年度末には結果が出る。具体的には、厚生年金休暇センターの施設の存続と検証であり、適正価格の算出、取得方法及び相手先との交渉、運営収支の策定、運営体制の確立、有効活用施策の提案等である。
次に、指定管理者物件の分析と検証では、物件の事業収支分析、今後の見直し、改善策及び経営戦略の提案等である。

公表の関係は、年度末を予定しているが、内部検証の期間も必要ゆえ市民に向けての公表は現段階では考えてはないうことで公表する考えである。

防災行政無線施設監理業務委託料等について

問

防災行政無線施設監理業務委託料等となっているが、内訳をお聞かせいただきたい。

基本設計・実施設計がいくらであったかお聞きしたい。

答

まず、一千七十一万円が防災行政無線監理業務委託料である。森山に中継局をつくるための進入道路の分筆費用が、三百二十万円、現況測量と設計委託で四百万円である。無線局の許可申請の委託料が百十六万四千円の総計一千九百七万四千円が委託料等の総額である。

基本設計は、日本農村情報システム協会で、二十九万四千円である。実施設計業務は、電気興業株式会社中四国支店四国営業所に委託し、五百六十一万三千円である。

遊楽館の指定管理委託料及び備品購入費について

問

本年度七月以降の九カ月分で百二十万円の委託料だが、次年度の見直しは。

また、備品購入費で購入する備品は、以前補助金で購入したものであり、二重支払い

にならないか。

答

委託料の積算根拠は光熱水費の基本料部分であり、要望金額よりかなり少ない額となっている。次年度も光熱水費の一年分を想定しており、約百六十万円となる見直しである。

備品に関しては、以前農林業の振興目的で支出した補助金で購入した物であるが、顧問弁護士とも相談した結果、公金の二重支出には該当しないという見解であった。予算計上は二千三百三十万円だが、減価償却の済んでいるものは寄附いただくことにし、未償却のローラー滑り台一千六百万円について実勢適正価格を調査しその価格で購入したい。



ローラー滑り台